

■カラコエ『エスペランサ』シリーズの概要

◆特長

- ①草丈50～60cmの高性カラコエで、草丈の高さを生かした立体感のある寄せ植えに向く。
- ②従来の高性カラコエと比べ、花房が大きいため花数が多く、花色が鮮明。
- ③葉が植物体の基部に密生し、花茎が葉をつけずに伸び上がるので切り花スタイルがよい。
- ④乾燥に強いのでこまめな水やりをしなくても簡単に育ち、採花後の花もちも大変優れる。

◆ラインアップ（2タイプ各3色3品種 合計6品種）

タイプ	品種名	特徴
一重咲き	エスペランサ スカーレット	オレンジがかった赤色。
	エスペランサ イエロー	明るく鮮やかな黄色。
	エスペランサ ピンク	やわらかなピンク色。
八重咲き	エスペランサ ダブルオレンジ	鮮やかなアプリコットオレンジ色。
	エスペランサ ダブルイエロー	赤みの少ない濃い黄色。
	エスペランサ ダブルピンク	半八重咲きの明るいピンク色。

◆栽培のポイント

①お届け後の管理

短日処理※をして花芽が形成されている苗が届く。1株で楽しむ場合は、そのまま鉢に移しかえ室内の窓辺に置く。草丈が高いため深めの鉢に入れるとバランスがよい。寄せ植えの場合は、この時期に根鉢を崩すと花芽が傷んでしまうので、21cm以上の鉢やプランターに、ポットに入れたまま寄せ鉢にする（実際の植えかえは開花後に行う）。その際、鉢がもぐらないよう、発砲スチロールなどで底あげする。開花中は肥料を施さなくても育つ。鉢の表面が白く乾いてきたら水をやる。

②夏越しの管理 6～9月

開花期が終わったら、花茎のすぐ下の節から切り戻した後、一回り大きい鉢に植えかえ、活着後、週に一度液体肥料を施す。カラコエがもっとも生育し株が大きくなる時期なので、土の表面が乾いたらたっぷり水をやる。木陰など直射日光が避けられる風通しのよいところに置く。雨が続くときは軒下など置き過湿にならないよう注意する。9月ごろから徐々に日にあてていく。

③秋の管理 10～12月

カラコエは昼間が短くなると（夜間が長いとき）に花芽をつける植物なので、花芽が確認できるまでは夜間に明かりの入らない場所で管理し、最低気温が5℃前後になったら室内の窓辺に移す。

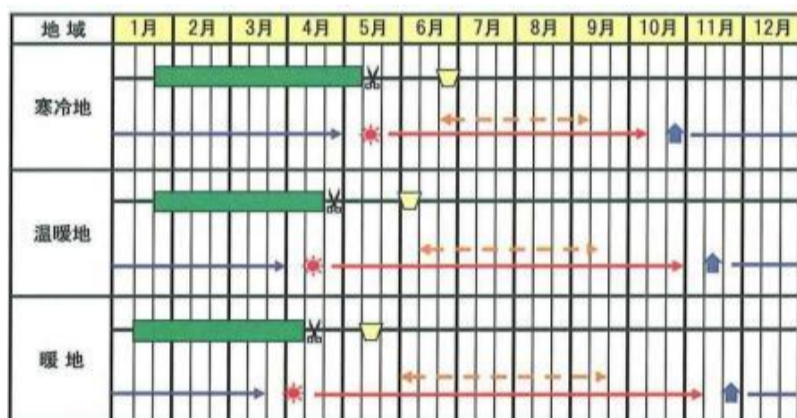
④冬越しの管理 1～3月

日がよくあたる暖かい窓辺に置く。開花後は暖房のない窓辺に置くと花が長もちする。ただし、あまり温度が低いと葉色が赤褐色になる場合がある。水やりは月に一度程度で、乾かし気味に管理する。

※ 短日処理:

人工的に日長を短い環境（短日）に設定し、植物が受ける明るい時間を短くする栽培方法。

◆作型図



開花期 室内
 切り戻し 戸外 (半日陰)
 鉢がえ

※短日処理をせずに栽培した場合の作型図。届いたばかりの苗は短日処理されているので、苗到着後約1か月半開花し、2年目以降は上記のような栽培スケジュールとなる。

◆販売ルート・形態・価格・時期

販売ルート	形態	税込み小売価格	予約受注	発送
当社通信販売・オンラインショップ	鉢物 (18cmプラ鉢)	各品種1鉢1,890円	通信販売では2010年12月20日、オンラインショップでは12月28日から	2011年4月中旬から順次
	苗 (10.5cmロングポリポット)	3株1組 (3品種×1株) 2,400円 6株1組 (3品種×2株) 4,200円		2011年3月下旬から順次

※3株1組、6株1組の各商品は、一重咲き、八重咲きでそれぞれ販売する。

※サカタのタネ ガーデンセンター横浜でも2011年4月中旬から販売予定。

※全国の園芸店・ホームセンタールートでの販売は未定。